



今年の夏は、雪田農園（自宅の庭）は絶好調です。トマト、ピーマンは豊作。バジルや大葉などハーブ系も、毎日食べても OK です。イタリアンパセリだけは何故か絶不調。昔は自宅以外にも家庭菜園を二ヶ所も借りて、自称「兼業農家」をやっていたのですが、さぼり癖がついてしまい挫折。今は、ほったらかしでも収穫できる野菜しか植えていません。庭に捨てた生ごみの中から偶然生えてきた野菜を見つけるのも楽しいです。でも今年は生ごみ有機肥料だけでは足りないと感じ、化学肥料を少し投入したのが絶好調の理由かと思われます。少しは努力しろということでしょうか。花の大きな野菜もいだろうと思ってカボチャを植えてみました。黄色のきれいな花が連続して咲いています。観賞用にも最適です。その花を眺めていたら、先日訪れた白水阿弥陀堂（福島県いわき市）を思い出しました。お寺の中に極楽浄土をイメージした大きな池のある大庭園です。時期が少し早かったのですが、きれいな蓮の花も見えました。昔の人たちは、こんな景色を眺めながら心を癒していたのでしょうか。私の庭にも池と蓮の花があつたら……極楽浄土?? これは少しばかりの努力では難しそうです。秋になったら考えることにします。（つづく）

緩和ケア私の仕事

「研修医と緩和をつなぐマネージャー」

研修医担当 事務 森川 智

私は初期研修医を担当している事務です。初期研修医は厚労省のガイドラインに沿って2年間の研修を修了しなくてはなりません。色々な決まりがあります。その決まりに沿って研修できているか管理する、いわゆるマネージャーみたいなものでしょうか。当院は17名の初期研修医がいるので結構大変なのです。私の紹介はこのぐらいで。緩和ケアは初期研修医にとって必修の研修ではありません。しかし、ほぼ全員が緩和ケアの研修を希望します。なぜなら、「私が推す」からです！研修は麻薬の処方、ACP...うーん、よくわかりませんので研修医にもあまり説明できません。しかし、緩和ケアを研修後満足している研修医が多い、これを伝えます。ほぼ全員が指導医の先生方と仲良くなり、指導医の先生とお酒を飲みに行ったり、プロ野球観戦に行ったりしているみたいです。私も先日、佐野先生と一緒にプロ野球を観戦しました。プレイボール間もなくして佐野先生の推しチームが得点し、ぱっと佐野先生を見ると後ろの席のまったく知らない人と歓喜を分かち合っていました。その姿を見て、佐野先生の人柄の良さを改めて感じました。高橋先生は人の死や苦痛に接して心が揺らぐ研修医の気持ちに寄り添った指導、またローテートの振り返りでは時に優しく、時に厳しく的確な指摘をしてくれます。指導医の先生方の人柄の良さも研修医の満足につながっているのだと思います。これからも、初期研修医に緩和ケアの研修を推します！それが緩和ケアの私の仕事です。



緩和ケア・テラス新聞⑬

埼玉協同病院東5病棟

2026年7月号



テラス新聞写真
コンテスト
作品募集中です。

テーマ「いい夏」



7/6 テラスのメダカ池の睡蓮が一年ぶりに開花しました。睡蓮は1つの花が3日咲き続けます。(3日間咲いたり閉じたりを繰り返す)花言葉は「清純な心」「信頼」「やさしさ」などです。水面に浮かんで凜と咲く美しい姿から、これらの前向きな意味が生まれたそうです。

今後のイベント予定

7月 テラス新聞コンテスト 9月秋桜コンサート

埼玉協同病院東5階緩和ケア病棟のホームページは

こちらからもご覧になれます。

